

一般社団法人日本育種学会 第147回講演会プログラム
2025年春季 東北大学

		受付 8:30開始(C棟C106)					
		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	
		C棟C200	B棟B200	B棟B201	B棟B202	B棟B203	
3月20日 (木・祝)	午前	ゲノム解析・ゲノム育種 101-110 9:00-11:30	オミクス・データベース 201 9:00-9:15	育種法・育種技術 301-310 9:00-11:30	収量・品質 401-405 9:00-10:15	抵抗性・耐性 501-510 9:00-11:30	
			遺伝子機能 202-210 9:15-11:30				品種育成・遺伝資源 406-410 10:15-11:30
	午後	○ 株式会社ジーンベイ ランチョンセミナー 12:00-12:50 (会場:A棟A200) 「葉たばこゲノム解析:De novoアセンブリから育種への応用まで」 講演演者:宇田川 久史(日本たばこ産業株式会社 葉たばこ研究所) 講演演者:上村 泰央(株式会社ジーンベイ)					
		総 会 13:00-14:00 (会場:マルチメディア教育研究棟M206)					
		学会賞受賞講演 14:10-17:45 (会場:マルチメディア教育研究棟M206)					
		受賞者紹介	14:10-14:20				
		学会賞	14:20-14:55	◎イネ穂の構造を決定するしくみの分子遺伝学的解析 経塚 淳子(東北大学大学院生命科学研究科)			
			15:00-15:35	◎有用植物変異体の解析と育種への応用 草場 信(広島大学大学院統合生命科学研究科)			
			15:40-16:15	◎多収で外観が優れ、しっとりとした食感を持つ高糖度サツマイモ品種「べにはるか」の育成 農研機構・九州沖縄農業研究センター「べにはるか」育成グループ(代表者:甲斐 由美)			
		奨励賞	16:20-16:45	◎イネ科植物における茎形成機構の研究 津田 勝利(国立遺伝学研究所)			
	16:50-17:15	◎野外試験圃場における高効率フェノタイピングと情報解析に関する研究 郭 威(東京大学大学院農学生命科学研究科)					
	17:20-17:45	◎全ゲノム解析に基づく作物の遺伝解析手法の高度化 山本 英司(農研機構 作物研究部門)					
懇親会 18:15-20:15 (川内の杜ダイニング)							
3月21日 (金)	午前	受付 8:30開始(C棟C106)					
		ポスター発表 9:00-11:30 奇数番号 9:00-10:15 偶数番号 10:15-11:30					
		C棟C201 - P001 ~ P020		C棟C204 - P051 ~ P060			
		C棟C202 - P021 ~ P040		C棟C205 - P061 ~ P080			
	C棟C203 - P041 ~ P050		C棟C206 - P081 ~ P094				
	午後	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	
		C棟C200	B棟B200	B棟B201	B棟B202	B棟B203	
		ゲノム解析・ゲノム育種 111-121 13:00-15:45	ゲノム解析・ゲノム育種 211-221 13:00-15:45	増殖・生殖 311-321 13:00-15:45	品種育成・遺伝資源 411-421 13:00-15:45	抵抗性・耐性 511-514 13:00-14:00	
						発生・生理 515-521 14:00-15:45	

3月20日(木) 午前 口頭発表プログラム

3月20日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 門田有希 (岡山大・院環境生命自然)	◆座長 久野裕 (岡山大・植物研)	◆座長 南川舞 (千葉大・国際高等研究基幹)
9:00	101 埼玉県における水稲旱生系統育成を目的とした出穂期遺伝子解析 ☆中村善紀, 小山浩由 (埼玉県農業技術研究センター)	201 「育種生成AI」プロトタイプの開発 ○鐘ヶ江弘美 1,2, 米丸淳一 1 (1. 農研機構・農情研, 2. 農研機構・作物研)	301 登熟気温を一律にして評価した水稲の高温登熟性 ☆中岡史裕 1,2, 小林麻子 1, 茶谷 悠輝 1, 渡辺 脩斗 1, 両角 悠作 1, 中川博視 3, 山崎 将紀 3 (1. 福井県農業試験場, 2. 新潟大学, 3. 農研機構・農業情報研究センター)
9:15	102 ゲノムワイドな遺伝子型解析技術 (ddRAD-Seq, GRAS-Di, および MIG-Seq) により検出される SNP の比較解析 ○白澤 健太 1, 三嶋 賢太郎 2, 井城 泰一 2, 平尾 知士 3 (1. かずさ DNA 研, 2. 森林総研林育セ東北, 3. 森林総研林育セ)	202 環境ストレス下でのトランスポゾン活性化とその育種応用の可能性 ○伊藤 秀臣 (北大・院理学)	302 時系列トランスクリプトームを用いたバンコムギの収量予測モデルの構築と収量に寄与する遺伝子の探索 ☆古島 悠生 1, 吉岡 俊輔 1, 木村 奏 2, 木下 青 2, 黒木 健 3, 岩田 洋佳 2, 那須田 周平 1 (1. 京都大院・農学, 2. 東京大・院農学生命科学, 3. 東京大院・理学)
9:30	103 2DL 染色体上のコムギ赤かび病抵抗性 QTL における新規抵抗性アレルは日本在来品種に由来し「蘇麦3号」由来アレルより有用である ○大西 志全 1, 堀川 謙太郎 2, 森田 耕一 1, 山口 直矢 2, 相馬 ちひろ 2, 佐藤 優美 1, 其田 達也 1 (1. 道総研・北見農試, 2. 道総研・中央農試)	203 講演取り消し	303 Genomic prediction of stalk lodging resistance and the associated intermediate phenotypes in maize ○Gota Morota1, Caique Machado e Silva2, Bharath Kunduru3, Christopher McMahan3, Daniel Robertson4, Rajandeep Sekhon3 (1. Grad. Sch. Agr. Life Sci. Univ. Tokyo, 2. Federal University of Viçosa, 3. Clemson University, 4. University of Idaho)
9:45	104 耐塩性野生種ハマササゲにおける転移因子の挿入と <i>VmsOS1</i> の恒常的発現 ○内藤 健 1, 野田 祐作 2, Fanmiao Wang1, 武藤 千秋 1, 大橋 晴子 3, 坂井 寛章 4, 鈴井 伸郎 2, 尹 永根 2, 三好 悠太 2, 榎本 一之 2, 河地 有木 2, 古川 純 5 (1. 農研機構・遺伝資源研究センター, 2. 量研・高崎量子応用研究所, 3. 東大・院新領域創成科学, 4. 農研機構・分析研, 5. 筑波大・院生命環境科学)	204 ◆座長 縣 歩美 (名大院・生命農学研究科) オオムギにおけるオレンジレンマ変異の原因遺伝子 CAD の絞り込み ☆加古 凜花 1, 森田 真帆 2, 山地 奈美 2, 久野 裕 2, 佐藤 和広 1,2 (1. 摂南大・院農, 2. 岡山大・植物研)	304 水稲ヒストリカルデータの解析による既知遺伝子効果の推定 ☆千装 公樹 1, 山本 英司 1, 後藤 明俊 1, 池ヶ谷 智仁 1, 鈴木 信裕 1, 川原 善浩 2, 山崎 将紀 3, 杉本 和彦 1, 堀 清純 1 (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 農研機構・高度分析研究センター, 3. 新潟大学農学部)
10:00	105 ◆座長 寺石政義 (京大・院農) 多様なアズキ 96 品種系統の全ゲノムリシーケンス解析: アズキゲノム育種を目指して ☆阿出川 さとみ 1, 山口 直矢 1, 相馬 ちひろ 1, 白澤 健太 2 (1. 道総研中央農試, 2. かずさ DNA 研究所)	205 シロイヌナズナ葉緑体ゲノム A-to-G 置換酵素の塩基置換特性評価 ☆中里 一星, 田村 美子, 増田 麗子, 堤 伸浩, 有村 慎一 (東大・院・農生)	305 ◆座長 師田 郷太 (東京大・院農学生命科学) ゲノム情報と登熟期間の気温に基づく水稲玄米品質予測モデルの開発 ☆鈴木 信裕 1, 谷口 昇志 2, 林 武司 2, 松下 景 1, 鐘ヶ江 弘美 1,2, 中川 博視 2, 後藤 明俊 1,2 (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 農研機構・農業情報研究センター)
10:15	106 雌雄異株植物オニドコロにおける性決定ゲノム基盤 ☆工藤 葵 1, 夏目 俊 2, 杉原 優 3, 加藤 大明 1, 阿部 陽 2, 及川 香梨 2, 清水 元樹 2, 伊藤 和江 2, 辻村 真衣 4, 寺地 徹 5, 堺 俊之 1, 太田 敦士 1, 寺内 良平 1 (1. 京大・農, 2. 岩手生工研, 3. The Sainsbury Laboratory, 4. 龍谷大・農, 5. 京産大・生命科学)	206 イネにおける CRISPR-Cas3 を利用した base editor の開発 ○雑賀 啓明 1, 吉見 一人 2 (1. 農研機構・生物研, 2. 東京大・医科研)	306 ダイズ RILs および交配後代集団を用いた地上部表現型の分離予測精度の検証 ☆櫻井 建吾 1, 戸田 悠介 2, 辻本 壽 3, 加賀 秋人 4, 岩田 洋佳 1 (1. 東大・院農学生命科学, 2. 農研機構・農業環境研究部門, 3. 鳥取大・乾燥地研究センター, 4. 農研機構・作物研究部門)
10:30	107 ゴマ属植物の全ゲノム解説 田中 裕之 1, 小笠 栄一郎 2, 瀬川 天太 2, 村田 純 3, 高木 宏樹 4, 植垣 裕斗 5, 豊永 宏美 3, 白石 慧 3, 高木 基成 6, 豊田 敦 7, 佐藤 杏子 8, 若杉 達也 8, 堀川 学 3, 河瀬 眞琴 9, 伊藤 武彦 1, 山本 将之 8 (1. 東京科学大・生命理工, 2. サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社, 3. サントリー生命科学財団 生物有機化学研究所, 4. 石川県立大・生物資源環境, 5. 富山大・院・理工, 6. サントリーシステムテクノロジー株式会社, 7. 遺伝研, 8. 富山大・学術研究・理, 9. 東京農大・農)	207 イネ生殖細胞特異的アルゴノートタンパク質 MEL1 の標的遺伝子の探索 ○野々村 賢一 1,2, Hua Liu3, 三村 真生 4, Wenwu Wu3, 平塚 理恵 5, 田中 啓介 6, 大谷 美沙都 7, 出村 拓 8, Shenkui Liu3, 佐々木 卓治 9 (1. 遺伝研・植物細胞遺伝, 2. 総研大・遺伝, 3. 浙江農林大, 4. 東大院・農, 5. 慈恵医大・医, 6. 東京情報大・総合情報, 7. 東大院・新領域, 8. 奈良先端大・バイオ, 9. 東農大・総合研)	307 ベイズ最適化様 Random Forest: イネの遺伝子型と環境の最適組合せの探索 ☆望月 秀斗 1, 濱崎 甲資 2, 佐藤 陸志 3, 阿部 陽 4, 金 天海 5,6, 下野 裕之 5, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 理研・革新知能統合研究センター, 3. 夷風凜凜, 4. 岩手生物工学研究センター, 5. 岩手大, 6. Sky Ocean Technology Co., Ltd. Sky Ocean Technology Co., Ltd.)
10:45	108 ◆座長 山本将之 (富山大・学術研究部理学系) コシヒカリを相対的に早生化する 2 つの QTLs と環境の相互作用 ○米丸 淳一 1, 和田 楓 1, 渡辺 脩斗 2 (1. 農研機構・農情研, 2. 福井県庁)	208 ◆座長 雑賀 啓明 (農研機構・生物機能利用研究部門) トウジンビエの花成制御遺伝子候補・ <i>KNOTTED1-like</i> 遺伝子の機能解析 ☆神原 昂太 1, SK Gupta2, 高野 哲夫 1, 津釜 大侑 1 (1. 東大院・農学生命科学, 2. 国際半乾燥熱帯作物研究所)	308 ◆座長 堀 清純 (農研機構・作物研究部門) カンキツ果実の形態情報を用いたゲノム育種の可能性評価 ☆廣永 浩多 1, 清野 拓視 2, 野中 圭介 3, 清水 徳朗 3,4, 南川 舞 5 (1. 千葉大・園芸, 2. 千葉大院・園芸, 3. 農研機構・果樹茶業研究部門, 4. かずさ DNA 研究所, 5. 千葉大・国際高等研究基幹)
11:00	109 ダイズに着生する根粒菌種比率を制御する遺伝子の探索 ○寺石 政義 1, 阪口 航輔 1, 土本 隆弘 1, 吉川 貴徳 1,2 (1. 京大院農, 2. 遺伝研)	209 サツマイモとその野生種に特異的な CMF 遺伝子はサツマイモの塊根形成に関与する ☆末松 恵祐 1, 森田 隆太郎 2, 大谷 基泰 3, 鈴木 陸太 2, 田中 勝 1 (1. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 2. 東京大・院農学生命科学, 3. 石川県立大・生物資源環境)	309 コムギ種子の多波長画像解析に近赤外分光法および粒形測定を組み合わせた製粉性の予測 ☆吉岡 資洋, 池田 達哉, 伴 雄介, 伊藤 美環子, 川口 謙二, 杉田 知彦, 加藤 啓太 (農研機構・西日本農業研究センター)
11:15	110 道総研の育種ヒストリカルデータを用いたジャガイモ疫病抵抗性に関する GWAS と QTN の有効性検証 ○佐藤 圭 1, 石川 圭大 1, 和崎 俊文 1, 品田 博史 1, 白澤 健太 2, 山口 直矢 3 (1. 道総研・北見農試, 2. かずさ DNA 研, 3. 道総研・中央農試)	210 野生イネ <i>O. rufipogon</i> W1109 に由来する RT98 型細胞質雄性不稔性の稔性回復系統 RT98C が持つ <i>Rf-like</i> PPR 遺伝子クラスターの標的予測 ☆五十嵐 圭介, 小林 碧尊, 鳥山 欽哉 (東北大・院・農)	310 インド型イネ品種南京 11 号より誘発した突然変異系統群における難脱粒性遺伝子の同定と利用 長野 尚史 1, 福田 善通 1,2 (1. 琉球大学 農学部, 2. 国際農研)

第4会場		第5会場		3月20日
◆座長 荒木 悦子 (農研機構・食品研究部門)		◆座長 鈴木 伸洋 (上智大学・理工学部)		
401	CRISPR-Cas9法を用いて作出したイネのスターチンターゼ(SS)IIB欠損変異体の異なる器官の澱粉構造解析 ○三浦 聡子 1,2, 織田島 拓希 1, 平田 洲五 3, クロフツ 尚子 4, 森田 隆太郎 3, 藤田 直子 1,2 (1. 秋田県大・生物資源, 2. (株) スターチテック, 3. 東京大・農生命, 4. 秋田高専・創造システム工)	501	アフリカ栽培イネ <i>Oryza glaberrima</i> を遺伝的背景に持つ戻し交雑後代集団におけるツマグロヨコバイ抵抗性の遺伝分析 ☆広中 利貴 1, Thein Thein 1, 山形 悦透 2, 安井 秀 2 (1. 九州大・院・生物資源環境科学府, 2. 九州大・院・農学研究院)	9:00
402	ダイズわいか病抵抗性遺伝子 <i>Rsdv1</i> を導入したダイズ実のイソフラボン含量 ☆高橋 春南 1, 前多 隼人 2, 山口 直矢 3 (1. 道総研・上川農試, 2. 弘前大学, 3. 道総研・中央農試)	502	イネいもち病圃場抵抗性遺伝子 <i>Pid3-11</i> の機能解析 ☆阿部 航太郎, 石原 健人, 犬飼 剛 (北大・院農)	9:15
403	ダイズ「とよまどか」の突然変異集団を用いた高タンパク質系統の選抜とその特性評価 ○足利 奈奈 1, 五十嵐 秀成 1, 小林 聡 2, 高橋 春南 3, 佐藤 圭 4, 細川 優介 2, 山口 直矢 2 (1. 道総研・十勝農試, 2. 道総研・中央農試, 3. 道総研・上川農試, 4. 道総研・北見農試)	503	Fine Mapping and Identification of a Locus Conferring Resistance to Cucumber Mosaic Virus in Spinach ☆ Yue Wu 1, Hideki HIRAKAWA 2, Chikara Masuta 3, Yasuyuki Onodera 3 (1. Grad. Sch. Agr., Hokkaido Univ., 2. Res. Fac. Agr., Kyushu Univ., 3. Res. Fac. Agr., Hokkaido Univ.)	9:30
404	◆座長 下坂 悦生 (農研機構・北海道農研) 遺伝子型と環境相互作用 (GEI) の解析によるカナダと北海道のダイズ収量安定性評価 ☆五十嵐 秀成 1, 山口 直矢 2 (1. 道総研・十勝農試, 2. 道総研・中央農試)	504	土壌伝染性コムギ萎縮ウイルスに対する抵抗性をコードするオオムギ (<i>Hordeum vulgare</i> L.) の優性遺伝子 ○小松田 隆夫 (山形県農業科学院作物科学研究所)	9:45
405	北海道のアズキ品種間で観察される収量の遺伝子型と環境の相互作用 (GEI) ☆細川 優介 1, 長澤 秀高 2, 山口 直矢 1, 堀内 優貴 2 (1. 道総研・中央農試, 2. 道総研・十勝農試)	505	◆座長 犬飼 剛 (北大・院農学) コムギ縮萎病 (WYMV) とコムギ萎縮病 (SBWMV) の混合感染がコムギ収量に及ぼす影響 ○来嶋 正朋 1, 東岱 孝司 1, 其田 達也 2, 大西 志全 2, 石川 美貴 3, 石村 博之 4 (1. 道総研・十勝農業試験場, 2. 道総研・北見農業試験場, 3. 北海道・十勝農業改良普及センター, 4. 北海道・農政部技術普及課)	10:00
406	コムギ品種「きたほなみ」を遺伝背景としたコムギ縮萎病抵抗性遺伝子とポリフェノールオキシダーゼ高活性型遺伝子の連鎖解消系統の作出 ○木内 均 1, 其田 達也 1, 阿出川 さとみ 2, 山口 直矢 2, 相馬 ちひろ 2, 大西 志全 1 (1. 道総研北見農試, 2. 道総研中央農試)	506	局所加温による根こぶ病の発病誘導方法の確立 ☆原口 果子, 房 相佑, 神山 拓也, 大西 孝幸 (宇都宮大・農)	10:15
407	◆座長 三浦 聡子 (秋田県大・生物資源) 良食味・多収米品種や遺伝資源系統における米糠脂質含量の変異 ○荒木 悦子 1, 宮澤 陽夫 2, 宮澤 大樹 2, 十亀 良輔 2, 伊藤 幸博 3, 江花 薫子 4, 鳥山 欽哉 3 (1. 農研機構・食品研究部門, 2. 東北大学・未来科学技術共同研究センター, 3. 東北大学・大学院農学研究科, 4. 農研機構・遺伝資源研究センター)	507	栽培イネを用いた穂形態の低施肥応答性に関する解析 ☆伊藤 ひなた 1, 森 拓也 1, 長谷川 昂平 1, 天野 真宏 1, 吉田 英樹 2, 西内 俊策 1, 村瀬 潤 1, 松岡 信 2, 高橋 宏和 1, 中国 幹生 1 (1. 名大・院生命農, 2. 福島大・発酵醸造研究所)	10:30
408	莖葉部におけるデンプン合成酵素遺伝子 <i>OsAGPL1</i> の機能欠損変異を有する「咲かないイネ」の解析 ☆宮崎 虹輔, 鈴木 慎琴, 西出 典子, 橋本 舜平, 森田 隆太郎, 青木 直大, 井澤 毅 (東大・院農学生命科学)	508	◆座長 山形 悦透 (九州大・院・農学研究院) Disruption of lipid-related gene alters pollen fertility, lipid accumulation, and cold tolerance in rice ☆ Kayyis Lubba 1, Koichi YAMAMORI 2, Yuji KISHIMA 1 (1. Hokkaido University Graduate School of Agriculture, 2. Kyoto University Graduate School of Agriculture)	10:45
409	中早生で長期貯蔵性に優れたポテトチップ加工用バレイシヨ新品種「しんせい」 ○下坂 悦生 1, 田宮 誠司 1,2, 浅野 賢治 1,3, 津田 昌吾 1, 西中 未央 1,4, 森 元幸 1,5, 小林 晃 1,6, 向島 信洋 1,7, 赤井 浩太郎 1, 岡本 智史 1,8, 高田 明子 1,9 (1. 農研機構・北海道農研, 2. 現・農研機構・東北農研, 3. 現・農林水産省・農林水産技術会議事務局, 4. 現・農研機構・中日本農研, 5. 現・カルビーポテト (株), 6. 現・農研機構・九州沖縄農研, 7. 現・長崎県農林技術開発センター, 8. 現・農研機構・種苗管理センター, 9. 現・農研機構・本部)	509	雑草イネに共通する赤米遺伝子 <i>Rd</i> と <i>Rc</i> の相互作用が与える種子の凍結耐性への影響 ☆高間 梨央 1,2, 田中 淳一 2,3 (1. 農研機構・植物防疫研究部門, 2. 筑波大・理工情報生命科学院, 3. 農研機構・本部)	11:00
410	宮崎発のメロン育種に向けてのアプローチ～高糖度・高香味 F1 メロン系統の育成～ ○陳 蘭庄 1,2, 橋本 浩起 1, 山口 采佳 1, 渡邊 麗奈 1, 渡辺 涼太 1, 廣中 彬人 1 (1. 南九州大・環境園芸, 2. 南九州大・大学院園芸学食品科学研究科)	510	接木を用いた <i>Vigna luteola</i> の耐塩性機構の解明および根の発現解析による耐塩性遺伝子候補の同定 ☆壹岐 友里恵 1, Fanmiao Wang 2, 伊藤 広輔 1, 若竹 崇雅 3, 田野井 慶太郎 4, 内藤 健 2 (1. 東大・院新領域, 2. 農研機構・遺伝資源研究センター, 3. 奈良先端大・先端科学技術, 4. 東大・院農学生命)	11:15

3月21日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 星野友紀 (山形大院・農)	◆座長 菅波真央 (福島大学食農学類附属発酵醸造研究所)	◆座長 風間智彦 (九州大・院・農)
13:00	111 2倍体バレイシヨの実生世代と塊茎世代における農業形質のQTLマッピング ☆河又百花, 實友玲奈, 保坂和良 (帯広畜産大学)	211 野生ダイズミニコアコレクシヨンのゲノム情報整備とGWASを用いた遺伝子同定への応用 ○李鋒1, 矢野亮一2, 中田隆1, 栗田加奈子1, 橋口正嗣3, 明石良4, 田中秀典4, 高木恭子1, 平賀勸1, 石本政男1 (1. 農研機構 作物研究部門, 2. 農研機構 高度分析研究センター, 3. 宮崎大・地域資源創成学部, 4. 宮崎大・農学部)	311 ダイコン、ブロッコリー、ハクサイ胚軸を用いた形質転換プロトコルの現状と問題点 ○塚塚信也 (玉川大・農)
13:15	112 極早生バレイシヨ品種後代集団の表現型に及ぼすCDF1アレルの効果 ☆江口夏帆, 實友玲奈 (帯広畜産大学)	212 酒造好適米104品種・系統の育種情報基盤の整備 ○堀清純1, 江花薫子2, Shenton Matthew1, 田中伸裕1, 石丸健1, 平林秀介1, 川原善浩3, 鎌ヶ江弘美1, 4, 奥西智哉5, 杉本和彦1 (1. 農研機構・作物研, 2. 農研機構・資源研, 3. 農研機構・分析研, 4. 農研機構・農情研, 5. 農研機構・食品研)	312 シロイヌナズナを用いたBrassica属植物自家不和合性の柱頭側における表現型優劣性の再現 ☆陳均育, 北柴大泰, 山本雅也 (東北大・院農学研究科)
13:30	113 サツマイモ塊根のアントシアニンの含量や組成に関連するQTLの検出 ○田中勝, 末松恵祐, 倉田理恵, 境垣内岳雄 (農研機構・九冲研)	213 酒米品種の穀粒品質と澱粉特性に関する遺伝的多様性とゲノムワイドアソシエーション解析 ○Matthew Shenton1, 石丸健1, 平林秀介1, 田中伸裕1, 江花薫子3, 杉本和彦2, 堀清純1 (1. 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究部門 作物デザイン研究領域 作物遺伝子機能評価グループ, 2. 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究部門 研究推進部研究推進室, 3. 農業・食品産業技術総合研究機構 基盤技術研究本部 遺伝資源研究センター ジェノバンク 事業技術室)	313 AISRBk (S367L) 変異を発現するシロイヌナズナの高温時の自家和合化を回復させる変異の同定 ☆横澤俊平, 北柴大泰, 山本雅也 (東北大・院植物遺伝育種学)
13:45	114 バルク分離分析を利用したサツマイモネコブセンチュウレウスSP6-2への抵抗性を制御するQTLsの同定とその効果の検証 ☆土屋駿太1, 栗原未結2, 田淵宏朗3, 西村和紗4, 西田英隆4, 加藤鎌司4, 門田有希4 (1. 岡山大・農, 2. 岡山大・院環境生命, 3. 農研機構・九冲研, 4. 岡山大・院環境生命自然)	214 納豆用ダイズの極小粒化を目指した百粒重のゲノミック予測モデルの構築 ○山口直矢1, 白澤健太2, 五十嵐秀成3, 山田哲也4 (1. 道総研中央農試, 2. かずさDNA研究所, 3. 道総研十勝農試, 4. 北大農学研究院)	314 シロイヌナズナを用いたアミノ酸配列の相同性が高いBrassica属とRaphanus属S遺伝子間の認識特異性調査 ☆鈴木拓実1, 小倉真里奈1, 牧野能士2, 北柴大泰1, 山本雅也1 (1. 東北大・院農学, 2. 東北大・院理学)
	◆座長 實友玲奈 (帯広畜産大学)	◆座長 坂井寛章 (農研機構・高度分析研究センター)	◆座長 佐久間俊 (鳥取大学農学部)
14:00	115 ソルガムF ₁ 品種「風立」の稈長における雑種強勢の遺伝解析 ☆伊里友希1, 岡田聡史2, 橋本舜平3, 中村(荒木)聡子2, 篠原(大前)梢2, 春日重光4, 佐塚隆志2 (1. 名大・院生命科学, 2. 名大・生物機能開発利用研究センター, 3. 東大・院農学生命科学, 4. 信大・アルプス圏フィールド科学教育研究センター)	215 NARO Open Rice Collection (NRC)の整備と種子イオノーム解析 ○田中伸裕1, 川原善浩2, 江花薫子3, Matthew Shenton1 (1. 農研機構作物研究部門, 2. 農研機構高度分析センター, 3. 農研機構遺伝資源センター)	315 国内のBrassica F ₁ 品種にはどのSハプロタイプが使われているか? ☆加藤陸, 季傑, 朱星宇, 山下雅大, 宮下脩平, 山本雅也, 北柴大泰 (東北大・院農学研究科)
14:15	116 Yield prediction based on QTLs for yield components using yield dissection models in tomato ☆ Yutaka Tsutsumi-Morita1,2,3, Ep Heuvelink2, Sedighehsadat Khaleghi2, Daniela Bustos-Korts3,4, Leo F.M. Marcelis2, Kim M.C.A. Vermeer5, Hannelore van Stappen-van Dijk5, Frank F. Millenaar5, George A. K. Van Voorn3, Martin P. Boer3, Fred A. Van Eeuwijk3 (1. CCCA, NIES, 2. Horticulture and Product Physiology, Wageningen University & Research, 3. Biometris, Wageningen University & Research, 4. Universidad Austral de Chile, 5. BASF's vegetable seeds business (Nunhems))	216 Genetic control of seed iron and zinc concentration in Rwandan common bean population revealed by the Genome Wide Association Study (GWAS) ☆ Floride Mukamuhirwa1,2, Kenta Shirasawa3, Ken Naito4, Edouard Rurangwa2, Viateur Ndayizeye2, Alphonse Nyombayire2, Jean Pierre Muhire2, Mahalingam Govindaraj5, Norikuni Ohtake1, Keiichi Okazaki1, Moeiko Okada1, Eigo Fukai1 (1. Grad. Sch. Sci. Tec., Niigata Univ., 2. Crop In. Tec. Trans, Rwanda Agri. Anim. Res. Dev. Board, 3. Kazusa DNA Res. Inst., 4. Research Cen. Gen. Res., Nat. Agri. Fo. Res. Org. (NARO), 5. Alliance of Bio. Int. and Int. Cen. Trop. Agri. (CIAT))	316 イチゴF ₁ 採種における自殖種子混入率推定のためのデジタルPCR解析法の開発 ○石森元幸1, 片岡園2, 末吉孝行3, 永松志朗3, 田中美咲3, 小倉真里奈2, 野口裕司2, 樋口洋平1, 磯部祥子1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 農研機構・野菜花き研究部門, 3. 福岡県農林業総合試験場)
14:30	117 エンレイとダダチャマメの2つの交雑自殖集団を用いた良食味関連QTLsの比較 ☆塩谷直弘1, 高木悠太2, 小木曾映里3, 星野友紀1, 2 (1. 岩手大院・連合農, 2. 山形大院・農, 3. 科博・分子セ)	217 GRAS-DiとdpMIG-seqを利用したサツマイモ塊根へのカロテノイド蓄積に関する比較解析と遺伝子座の同定 ☆堀田望未1, 岡田吉弘2, 神崎浩1, 栗原未結3, 西村和紗1, 西田英隆1, 加藤鎌司1, 門田有希1 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 農研機構・九冲研, 3. 岡山大・院環境生命)	317 合成六倍体コムギにおけるGrass-clump dwarfを制御する遺伝子の探索 ☆中西爽太郎1, 西村和紗1, 岡田萌子2, 中崎鉄也3, 4, 門田有希1, 加藤鎌司1, 西田英隆1 (1. 岡山大・院環境生命自然科学, 2. 新潟大・院自然科学, 3. 京都大・院農学, 4. 京都大・成長戦略本部)
14:45	118 Verification of QTLs and prediction of candidate genes associated with grain yield-related traits in a pyramided wheat (Triticumurgidum L.) ☆ Tian Tian Chen1, Kazusa Nishimura2, Kazuki Murata1, Kyoka Nagasaka1, Yu Iwahashi1, Takahiro Makii1, Yu Kinoshita1, Hiromo Inoue1, Ryohei Nakano1, Tetsuya Nakazaki1, 3 (1. Grad. Sch. Agr., Kyoto Univ., 2. Grad. Sch. Environ. Life Nat. Sci. and Tech., Okayama Univ., 3. IAC, Kyoto Univ)	218 画像解析を活用したサツマイモの様々な農業形質に関する遺伝解析の試み ☆田中沙英1, 田淵宏朗2, 西村和紗3, 西田英隆3, 加藤鎌司3, 門田有希3 (1. 岡山大・農, 2. 農研機構・九冲研, 3. 岡山大・院環境生命自然)	318 Tadukan型細胞質雄性不稔性イネの稔性回復遺伝子の機能解析 ☆高塚歩1, 岩井裕子1, Mireau Hakim2, 3, 風間智彦4, 五十嵐圭介1, 鳥山欽哉1 (1. 東北大・院・農, 2. フランス国立農業研究所 IJBP, 3. パリ・サクレ大学・AgroParisTech, 4. 九州大・院・農)
	◆座長 岡田萌子 (新潟大学大学院自然科学研究科)	◆座長 李鋒 (農研機構作物研究部門)	◆座長 石森元幸 (東京大・院農学生命科学)
15:00	119 コムギ近縁野生種Aegilops sharonensis Eigの芒の長さに関連する複数の遺伝子座の同定 ☆叶柯夫1, 寺内良平1, 2, 太田敦士1 (1. 京大院・農学, 2. 岩手生物学研究センター)	219 RとTの機能欠失型ハプロタイプはダイズの外観向上のために選択された ☆菅波真央1, 小島創一2, 鎌倉雅都3, 白石愛花3, 別府和則3, 吉田英樹1, 二瓶直登1, 4, 高橋秀和1, 4, 升本早枝子1, 4, 和氣駿之5, 中山亨5, 吉田久美6, 松田幹1, 4, 渡辺正夫7, 松岡信1 (1. 福島大学食農学類附属発酵醸造研究所, 2. 東北大学大学院農学研究科, 3. 愛媛県立西条農業高校, 4. 福島大学食農学類, 5. 東北大学大学院工学研究科, 6. 愛知淑徳大学食健康科学部, 7. 東北大学大学院生命科学研究科)	319 ジャポニカイネのミトコンドリアに存在するCMS原因遺伝子orf288の発現を制御するPPR遺伝子の探索 ○鳥山欽哉1, 岩井裕子1, 五十嵐圭介1, 風間智彦2 (1. 東北大・院農, 2. 九州大・院農)
15:15	120 アフリカ栽培イネOryza glaberrimaの温帯地域での活用に向けた出穂の遺伝的基盤の解析 ☆藤井晶大1, 平尾愛喜1, 安井秀2, 山形悦透2 (1. 九州大学大学院生物資源環境科学府, 2. 九州大学大学院農学研究科)	220 サツマイモ低温糊化系統簡易選抜のためのアレルdosage推定法の構築と検証 ☆中原貴臣1, 田中勝2, 小川晃2, 川田ゆかり2, 西村和紗1, 西田英隆1, 加藤鎌司1, 門田有希1 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 農研機構・九冲研)	320 Brassica oleracea var. italicaとDiplotaxis tenuifoliaとの属間雑種におけるグルコシノール含有量の増加 ☆小田島慶1, 鈴木智大2, 大西孝幸1, 房相佑1 (1. 宇都宮大学院農学部, 2. 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター)
15:30	121 チモフェービ系コムギとその祖先種における穀粒の形状と重量に関する量的形質遺伝子座の探索 ☆林航大1, 寺内良平1, 2, 太田敦士1 (1. 京大院・農, 2. 岩手生工研)	221 次世代シーケンサーを利用したゲノム編集作物における外來DNA検出ツール「GenEditScan」の開発 ○坂井寛章1, 佐藤智之2, 伊藤剛3, 小貫律子4, 田部井豊5 (1. 農研機構・高度分析研究センター, 2. みずほリサーチ&テクノロジーズ(株), 3. 國立台湾大學, 4. 埼玉県立がんセンター, 5. 東洋大学・食環境科学部)	321 コムギの遠縁交雑における花粉管伸長の可視化 ○佐久間俊, 三科興平, 森田美波, 松本青空 (鳥取大学農学部)

第4会場		第5会場		3月21日
◆座長 松島良 (岡山大学・資源植物科学研究所)		◆座長 内藤健 (農研機構・遺伝資源研究センター)		
411	マクワとシロウリにおける果実形質関連 QTLs の推定と成立過程 ○田中克典 1, 中嶋くるみ 1, 嶋田玄太郎 2, 3, 大熊眞歩 4, 石川隆二 1, 西田英隆 4, 加藤鎌司 4 (1. 弘前大・農生, 2. ミュンヘン工大, 3. 筑波大・生命環境系, 4. 岡山大・院環境生命自然)	511	Decoding Plant Stress Communication: VOC-Induced HsfA2 Expression and Heat Stress Tolerance in <i>Arabidopsis thaliana</i> ☆ Baibhav Raj Barbaruah1, Feng Shuo1, Hidetaka Ito2 (1. Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ., 2. Fac. Sci., Hokkaido Univ.)	13:00
412	サツマイモの葉緑体ゲノム情報に基づく系統解析 ☆栗原未結, 西中未央, 田口和憲 (農研機構・中日本農業研究センター)	512	Investigation on Drought Stress Effect on Four Japanese Chili Pepper Varieties ☆ Rahmadani Primanindita Airlangga1, Hidetaka Ito2 (1. Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ., 2. Fac. Sci., Hokkaido Univ.)	13:15
413	半世紀以上眠るイネ在来品種遺伝資源の凱旋復活に向けて ○石井尊生 1, Sathya Lim1, Chhoun Orn2, 石川亮 1, 齋藤大樹 3, 佐藤豊 4 (1. 神戸大・院農学, 2. カンボジア・農業研究開発研究所, 3. 国際農研・熱帯島嶼研究拠点, 4. 国立遺伝学研究所)	513	Response of tomato plants to salt stress, waterlogging and their combination ☆ TAUFUKA ISLAM ANEE1, Nobuhiro Suzuki2 (1. Graduate School of Green Science and Engineering, Sophia University, 2. Faculty of Science and Technology, Sophia University)	13:30
414	ザンビアのイネ遺伝資源における出穂性の遺伝的変異 ○大城和輝 1, 佐藤雅志 2, 鳥山欽哉 3, 小松原崇 4, ムレンガラブソン 5, ナタンビムシカ 5, ムンゴブエグライビル 5, チンジモデリ 5, ムサブラエス 5, ムセタノーラ 5, カムギユヤローナ 5, ジョブジャステン 5, 福田善通 6 (1. 琉大・農学研究所, 2. 東北大・農, 3. 東北大・院農, 4. JICA, 5. ZARI, 6. 琉大・農)	514	活性酸素生成遺伝子 <i>RbohD</i> はシロイヌナズナの短時間熱ストレスの記憶および流れを伴う洪水に対する応答を制御する ○鈴木伸洋 1, 湯瀬舞衣 2, 片野和馬 3, 清水梨緒 2, 鷺見知夏 1, 鍛冶桃子 4, 志垣俊介 5, 鈴木洋之 6 (1. 上智大学・理工学部, 2. 上智大学大学院・理工学研究所, 3. 立命館大学・生命科学部, 4. 金沢大学大学院・自然科学研究科, 5. 国立情報学研究所・情報学プリンシプル研究系, 6. 北海学園大学・工学部)	13:45
◆座長 田中克典 (弘前大・農生)		◆座長 吉川貴徳 (国立遺伝研)		
415	インド型品種密陽 23 号と日本型品種アキヒカリを両親にもつリコンビナント・インブレットラインに生じる雑種弱勢関与と遺伝子座と農業形質との関係 ☆小林拓樹 1, 福田善通 1, 2 (1. 琉球大学 農学部, 2. 国際農林業研究センター)	515	WOX 遺伝子群によるイネ側根形成機構の解析 ☆ 藤田聖也 1, Yihao Dong1, Patrick Louie LIPIO1, 井成(池田)真由子 2, 大飼義明 3 (1. 名大・院生命農学, 2. 東海学園大・健康栄養, 3. 名大・農学国際教育研究センター)	14:00
416	作物・野生種間の交雑による品種多様化: 日本産ヤマノイモ類での事例研究 ☆美濃地弘樹 1, 太田敦士 1, 堺俊之 1, 杉原優 2, 工藤葵 1, 寺内良平 1, 3 (1. 京大院・農, 2. The Sainsbury Laboratory, 3. 岩手生工研)	516	ライブイメージングを用いたイネ葉原基を網羅する全細胞の成長解析 ☆田口みなみ 1, 徳山芳樹 2, Robert Kelly-Bellow3, Richard S. Smith3, 貴島祐治 2, 小出陽平 2 (1. 北大・農, 2. 北大・院農, 3. Department of Computational and System Biology, IIC)	14:15
417	ササゲ属における澱粉粒サイズの多様性についての解析 ○松島良 1, 金俊植 2, 石井孝佳 3, 山下純 1 (1. 岡山大学・資源植物科学研究所, 2. 理化学研究所・環境資源科学研究センター, 3. 鳥取大学国際乾燥地研究教育機構・乾燥地研究センター)	517	自然突然変異で出現した矮性短穂変異体の遺伝解析 Thanh Phong Le2, Dinh Thi Lam1, 深井 英吾 3, ○石川隆二 1 (1. 弘大農生, 2. アンザン大学気候変動研究所, 3. 新潟大学農学部)	14:30
418	台湾で収集されたオオムギ遺伝資源の亜熱帯環境における生育特性 ○最相大輔 1, 岡田吉弘 2, 鈴木崇之 2, 林 訓仕 3, 邱 琬皓 4 (1. 岡山大・植物研, 2. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 3. 臺中區農業改良場・農業部, 4. 国立中興大学・農芸学系)	518	Variation of thermo-sensitivity of heading date found in Hokkaido rice varieties affect heading synchrony and premature heading ☆ Md Imdadul Hoque1, Shuntaro Sakaguchi1, Masaki Takatori1, Masafumi Kinoshita2, Hiroshi Shinada3, Naoya Yamaguchi4, Tsutomu Nishimura4, Yuji Kishima1 (1. Grad. Sch. Agr., Hokkaido Univ., 2. Kamikawa Agricultural Experimental Station, Hokkaido Research Organization, 3. Kitami Agricultural Experimental Station, Hokkaido Research Organization, 4. Central Agricultural Experimental Station, Hokkaido Research Organization)	14:45
◆座長 最相大輔 (岡山大・植物研)		◆座長 加星光子 (かずさ DNA 研)		
419	LAMP 法を用いたブドウ品種シャインマスカットの簡易迅速な識別法の開発および妥当性確認 ○高畠 令王奈 1, 門田有希 2, 進藤 彰子 2, 峯岸 恭孝 3, 谷口 都也 4, 橋本 優 1, 竹内 朋幸 5, 高崎 一人 5, 磯部 祥子 6 (1. 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門, 2. 岡山大学大学院環境生命自然科学研究所, 3. 株式会社ニッポンジーン, 4. 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門, 5. 株式会社ファスマック, 6. かずさ DNA 研究所)	519	ジャスモン酸を介したトマト着果制御に関する転写因子 SIMYB21 の解析 ☆野村悠華子 1, 陸宇 2, 篠崎 良仁 2, 川勝 泰二 3, 原田 圭一郎 1, 矢野 亮一 4, 小嶋 美紀子 5, 竹林 裕美子 5, 榎原 均 6, 江面 浩 2, 7, 有泉 亨 2, 7 (1. 筑波大院・生命地球科学, 2. 筑波大・生命環境, 3. 農研機構・生物研, 4. 農研機構・分析研, 5. 理研・CSRS, 6. 名大院・生命農, 7. 筑波大・T-PIRC)	15:00
420	イネ振盪培養細胞を用いた抗菌タンパク質リゾスタフィンの分泌生産の検討 ☆矢原匠人, 渡会 岳, 大田原有咲, 下田 蒼, 米山 裕, 伊藤 幸博 (東北大・院農学)	520	MutMap 法を利用したオオムギの新規出穂期間関連遺伝子 <i>HvHY2</i> の同定 ☆大熊眞歩, 西村和紗, 門田有希, 加藤鎌司, 西田英隆 (岡山大・院環境生命自然)	15:15
421	A population of diploid interspecific hybrids between Asian and African rice reveals variations of pollen fertility associated with meiotic abnormalities ☆ Qonita Aulia Zahidah1, Megumi Ishihara1, Yui Minouchi1, Daichi Kuniyoshi2, Toshio Yamamoto3, Kiyotaka Nagaki3, Yuji Kishima1 (1. Grad. Sch. Agr., Hokkaido Univ., 2. Tropical Agriculture Research Front, JIRCAS, 3. IPSR, Okayama Univ.)	521	バンコムギ 6 品種を用いた juvenile-to-adult 相転換の多様性解析と秋播き性との関連 ☆妹尾 哉汰 1, 吉川 貴徳 2, 那須田 周平 1 (1. 京大院・農学, 2. 国立遺伝研)	15:30

口頭発表 講演番号・座長一覧

会場 日程	第1会場 C棟C200	第2会場 B棟B200	第3会場 B棟B201	第4会場 B棟B202	第5会場 B棟B203
3月20日 午前	101-104 門田 有希 09:00-10:00	201-202 久野 裕 09:00-09:30	301-304 南川 舞 09:00-10:00	401-403 荒木 悦子 09:00-09:45	501-504 鈴木 伸洋 09:00-10:00
	105-107 寺石 政義 10:00-10:45	204-207 縣 歩美 09:45-10:45	305-307 師田 郷太 10:00-10:45	404-406 下坂 悦生 09:45-10:30	505-507 犬飼 剛 10:00-10:45
	108-110 山本 将之 10:45-11:30	208-210 雑賀 啓明 10:45-11:30	308-310 堀 清純 10:45-11:30	407-410 三浦 聡子 10:30-11:30	508-510 山形 悦透 10:45-11:30

3月21日 午前	ポスター発表 9:00-11:30 (C棟C201, C202, C203, C204, C205, C206)				
3月21日 午後	111-114 星野 友紀 13:00-14:00	211-214 菅波 眞央 13:00-14:00	311-314 風間 智彦 13:00-14:00	411-414 松島 良 13:00-14:00	511-514 内藤 健 13:00-14:00
	115-118 實友 玲奈 14:00-15:00	215-218 坂井 寛章 14:00-15:00	315-318 佐久間 俊 14:00-15:00	415-418 田中 克典 14:00-15:00	515-518 吉川 貴徳 14:00-15:00
	119-121 岡田 萌子 15:00-15:45	219-221 李 鋒 15:00-15:45	319-321 石森 元幸 15:00-15:45	419-421 最相 大輔 15:00-15:45	519-521 加星 光子 15:00-15:45

日本育種学会 優秀発表賞 投票方法の改正に関連した注意点

1. エントリー制を採用します。

演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします。

2. 発表者マークの変更

プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています。ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいようお願いいたします。

ポスター発表プログラム (3月21日)

奇数番号 9:00-10:15 偶数番号 10:15-11:30

(C棟 C201-P001～P020 C棟 C202-P021～P040 C棟 C203-P041～P050

C棟 C204-P051～P060 C棟 C205-P061～P080 C棟 C206-P081～P094)

01. 育種法・育種技術 (Breeding method・Breeding technology)

P001 High-Resolution Melting によるゲノム編集個体の迅速スクリーニング

☆河内 匠, 西出 典子, 井澤 毅 (東大・院農学生命科学)

P002 レーザー距離計とモバイル端末を利用した作物データ収集の効率化

○山下 陽子, 佐藤 隼太, 順西 奈緒, 五十嵐 俊成 (道総研中央農試)

P003 可視・近赤外分光スペクトルによるイネの生理学的・遺伝学的な特徴抽出

○佐藤 豊¹, 竹久 妃奈子^{1,2}, 長岡 一郎³, 池羽田 晶文⁴ (1. 農研機構・作物研, 2. 農研機構・果茶研, 3. 農研機構・中農研, 4. 農研機構・食品研)

P004 完熟種子由来カルスを利用したソルガムの再分化

○服部 悦子 (トヨタ自動車 (株))

P005 水稻早生系統の選抜を目指した UAV 空撮画像を用いた表現型解析

○鈴木 雄一¹, 中野 月音¹, 小川 大輔², 坂本 利弘³ (1. 茨城県農総セ・生工研, 2. 農研機構・作物研, 3. 農研機構・農環研)

P006 用途が多岐に渡る国内オオムギ育種事業において効率的な遺伝子型解析を可能にする KASP マーカーセットの開発

☆清水 浩晶¹, 石川 吾郎², 青木 秀之³, 中田 克¹, 塔野岡 卓司⁴, 高橋 飛鳥², 田中 淳一⁴ (1. 農研機構九州沖縄農業センター, 2. 作物研究部門, 3. 北海道農業研究センター, 4. 農研機構本部)

P007 *in planta* Particle Bombardment (iPB) 法はサイズのゲノム編集を大きく変える

○今井 亮三, 藤井 健一朗, 小川 泰生, 栗山 和典, 平山 裕美子, 佐々木 健太郎 (農研機構・生物機能利用研究部門)

P008 シミュレーションによる混作のゲノミック予測

☆木下 青¹, 高梨 秀樹¹, 大森 良弘¹, 高橋 宏和², 市橋 泰範³, 藤 佑志郎⁴, 津田 麻衣⁵, 石井 孝佳^{6,7}, 郭 威¹, 岩田 洋佳¹ (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 名大・院生命農学, 3. 理研・バイオリソース研究センター, 4. 理研・環境資源科学研究センター, 5. 東洋大・食環境科学部, 6. 鳥取大・乾燥地研究センター, 7. 鳥取大・国際乾燥地研究教育機構)

P009 オオムギの剥皮に関する育種学的研究—QTL 解析および麦芽エキスとの関連性について—

☆佐々木 晋也, 金谷 良市, 廣田 直彦, 七森 理仁, 保木 健宏 (サッポロビール・原料開発研究所)

P010 植物三次元再構築における生成 AI の有効性の検証

○兒玉 晋洋, James BURRIDGE, Pieter BLOK, 郭 威 (東京大学)

P011 ダイズ交配集団における未知ゲノム情報の推定とハプロタイプを用いたゲノミック予測

☆岡部 黎¹, 櫻井 建吾², 稲森 稔², 五十嵐 秀成³, 山口 直矢⁴, 加賀 秋人⁵, 岩田 洋佳² (1. 東京大・農学部, 2. 東大・院農学生命科学, 3. 道総研十勝農試, 4. 道総研中央農試, 5. 農研機構・作物研究部門)

02. 品種育成・遺伝資源 (Breeding・Genetic Resource)

P012 イネの出穂期と各形質の関係について

○福井 邦明 (農研機構 遺伝資源研究センター)

P013 新潟県産米と気象と新系統育成

○山崎 将紀, 石井 伽歩, 佐藤 俊栄 (新潟大学農学部)

P014 パスタ加工適性に優れたデュラムコムギ新品種「セトデュール R5」の育成

○加藤 啓太¹, 伴 雄介¹, 伊藤 美環子¹, 川口 謙二¹, 大楠 秀樹², 田中 智樹², 川上 裕之², 山口 雅裕², 高田 兼則^{1,3}, 谷中美貴子^{1,4}, 船附 稚子^{1,5} (1. 農研機構 西日本農業研究センター, 2. 株式会社ニッポン 中央研究所, 3. 帯広畜産大 生命・食料科学研究部門, 4. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 5. 農研機構・東北農業研究センター)

P015 製パン性に優れたコムギ縞萎縮病抵抗性を持つ関東以西向けコムギ新品種「せとのほほえみ」

○伊藤 美環子¹, 伴 雄介¹, 加藤 啓太¹, 川口 謙二¹, 高田 兼則², 谷中美貴子³, 船附 稚子⁴, 池田 達哉¹, 石川 直幸¹ (1. 農研機構・西日本農業研究センター, 2. 帯広畜産大学, 3. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 4. 農研機構・東北農業研究センター)

P016 多年生穀物の開発 (ソバ種間雑種系統の開発・評価)

○鈴木 達郎¹, 松島 憲一², 松浦 朝奈², 辻本 一樹³, 黒河 凜緒³, 村上 翔悟³, 高橋 尚大³, 村田 浩平³, 勝 賢二郎¹, 勝田 端阜¹ (1. 農研機構 九州沖縄農業研究センター, 2. 信州大学学術研究院農学系, 3. 東海大学 農学部)

P017 蛋白質含有率が高く製パン性・醤油醸造適性に優れたコムギ新品種「たつきらり」の育成

○伴 雄介¹, 加藤 啓太¹, 伊藤 美環子¹, 徳力 望², 中垣 裕作², 廣瀬 正義², 川口 謙二¹, 池田 達哉¹, 高田 兼則^{1,3}, 谷中美貴子^{1,4}, 船附 稚子^{1,5}, 石川 直幸¹ (1. 農研機構・西日本農業研究センター, 2. ヒガシマル醤油 (株), 3. 帯広畜産大, 4. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 5. 農研機構・東北農業研究センター)

- P018** 水ナスを中心とした東アジアナス遺伝資源の果実形質調査と集団構造解析
○瀬上 修平 1, 西村 和紗 2 (1. 大阪環農水研, 2. 岡山大・院環境生命自然)
- P019** β -グルカン含量が極めて高いだか麦新品種「サンサンファイバー」の育成
○杉田知彦 1, 伊藤美環子 1, 伴雄介 1, 加藤啓太 1, 野方洋一 1, 阿部大吾 1, 吉岡藤治 2, 高橋飛鳥 3, 柳澤貴司 3, 長嶺敬 4 (1. 農研機構 西農研, 2. 農研機構 生研支援センター, 3. 農研機構 作物研, 4. 農研機構 中農研)
- P020** dpMIG-seq を用いた、アワのサルデ遺伝子のマッピング
○福永 健二 1, 佐谷 祐樹 1, 西村 和紗 2 (1. 県大・生物資源科学, 2. 岡山大・院環境生命自然)
- P021** 日米品種の交配に由来する寒冷地向けダイズ多収新品種「そらひびき」の育成
○菱沼 亜衣 1, 島村 聡 2, 笹谷 絵梨 1, 南條 洋平 1, 佐山 貴司 1, 平田 香里 3, 菊池 彰夫 1, 加藤 信 3, 松本 直 1, 山田 哲也 4, 羽鹿 牧太 5, 高橋 浩司 3, 山田 直弘 6, 河野 雄飛 7, 篠遠 善哉 1, 古畑 昌巳 1 (1. 農研機構・東北研, 2. 農研機構・九沖研, 3. 農研機構・作物研, 4. 農研機構・農情研, 5. (株)クボタ, 6. 長野農試, 7. 農研機構・中日本農研)
- P022** 早生熟期の改良型ハイブリッドライス「ハイブリッドとうごう 2号 S/4号 S」の育成
○地主 建志, 岩附 果穂 ((株) 水稲生産技術研究所)
- P023** 野生イネの生産量推定に関する基礎的研究 (III) 考古学調査におけるプラントオパール分析による野生イネの生産量推定のための野生イネ栽培試験
☆坂本 龍弥 1, 小城 太紀 1, 高橋 龍成 1, 志水 勝好 2, 石川 隆二 3, 宇田津 徹朗 4, 一谷 勝之 2 (1. 鹿大・院農林水産学, 2. 鹿大・農学, 3. 弘大・農学生命科学, 4. 宮崎大・農学)
- P024** トルコ南部の野生エンマーコムギ集団における遺伝的多様性の評価と疑似自然集団の作成
○森 直樹 1, 竹中 祥太郎 2, 丹野 研一 3, オズカン ハカン 4, 大田 正次 5 (1. 神戸大・院農, 2. 龍谷大・農, 3. 龍谷大・文, 4. チュクロワ大・農, 5. 福井県立大・名誉教授)
- P025** 晩生化したコシヒカリの強靱・多薬同質遺伝子系統群の全ゲノム解析
☆杉原 寛紀, 富田 因則 (静岡大・グリーン研)
- P026** 重イオンビーム照射及び速中性子線照射による新規トマト変異体の収集と遺伝的要因の探索
○杉本 貢一 1, 下川 卓志 2, 菊池 伯夫 3, メイスイート 3, 江面 浩 1 (1. 筑波大・T-PIRC, 2. 量研機構・量子医科学研究所, 3. クォンタムフラワーズ&フーズ)
- P027** 形態形質に基づくゼンテイカ類の種内変異・地理的分化及び分類群間の違いの検証
○笹沼 恒男 1,2, 玉川 加奈 2, 齋藤 乃亜 1, 佐藤 結紀 1, 浅見 昇汰 1, 長船 裕紀 3, 菅原 翼 3, 岸本 誠司 3,4 (1. 山形大・農, 2. 山形大・院農, 3. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会, 4. 東北工大・ライフデザイン学部)
- P028** 東北日本海側向けのコムギ品種育成の取り組み 2
☆佐々木 実来 1, 緒方 留実 1, 長屋 帆南 1, 鎌田 ひいな 1, 八田 浩一 2, 青木 秀之 2, 寺沢 洋平 2, 松中 仁 2, 松岡 彩 3, 中丸 観子 3, 伊藤 裕之 3, 池永 幸子 3, 中坪 あゆみ 1, 笹沼 恒男 1 (1. 山形大・農, 2. 農研機構・北農研セ, 3. 農研機構・東北農研セ)
- P029** 北陸地域における少収年に比較的減収しにくい大豆系統
○河野 雄飛 (農研機構・中日本農業研究センター)
- P030** ミャンマーシャン州東部の在来カラシナ集団の遺伝的多様性
☆野原 大知 1, 吉田 沙樹 2, Aung O. M3, 入江 憲治 4, 和久井 健司 2 (1. 東農大・院農学研究科, 2. 東農大・生物資源開発学科, 3. ミャンマー農業・畜産・灌漑省農業研究局, 4. 東農大・国際農業開発学科)

03. ゲノム解析・ゲノム育種 (Genomic analysis・Genome-based breeding)

- P031** カンキツ育種集団における近交弱勢の検出と育種への応用
☆木村 奏 1, 南川 舞 2, 野中 圭介 3, 清水 徳朗 3, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 千葉大・国際高等研究基幹, 3. 農研機構・果樹茶部門)
- P032** グラフィカルジェノタイプ作成ツール「GenoSee」の開発
☆橋本 舜平 1,2 (1. 東大院・農学生命科学, 2. 学振・特別研究員 PD)
- P033** 東北地方北部向け米粉品種候補系統における各出穂期遺伝子の遺伝子型調査
○大森 伸之介 1, 神田 伸一郎 2, 須永 若菜 2, 谷口 洋二郎 1, 田中 淳一 1 (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 青森産技農総研)
- P034** Polyploid QTL-seq 法によるジャガイモ疫病抵抗性の遺伝解析と DNA マーカー開発
☆中嶋 瞳 1, 水林 達実 2, 山川 博幹 2, 赤井 浩太郎 1 (1. 農研機構・北海道農業研究センター, 2. 農研機構・作物研究部門)
- P035** モモの *de novo* ゲノムアセンブリにおけるスキヤフォールディング手法の比較検討
☆西村 和紗 1, 牛島 幸一郎 1, 雨森 大 2, 中西 爽太郎 1, 門田 有希 1, 加藤 鎌司 1, 西田 英隆 1, 福田 文夫 1, 豊田 敦 3, 中野 龍平 2 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 京都大・院農学, 3. 国立遺伝学研究所)
- P036** コムギの土壌病害感染評価のための Virome 解析
○田中 剛 1, 高田 昌汰 2, 小島 久代 2, 矢崎 裕規 1, 小林 史典 2 (1. 農研機構・高度分析研究センター, 2. 農研機構・作物研究部門)

- P037 QTL Mapping of Important Agronomic Traits in Grain Amaranth (*Amaranthus hypochondriacus*)**
 ☆ Ahmad Zaelani¹, Sachiko Isobe², Kenta Shirasawa², Yosuke Yoshioka³ (1.Grad. Sch. Science & Tech., Univ. Tsukuba, 2.Kazusa DNA Research Institute, 3.Inst. Life & Env. Sci., Univ. Tsukuba)
- P038 ゲノムワイド関連解析を用いたイネ白未熟粒に関わる遺伝子の探索**
 ☆藤井 絵里帆¹, 山本 英司¹, 山崎 将紀², 堀 清純¹ (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 新潟大・院自然科学)
- P039 デュラムコムギ品種 Langdon のゲノム配列と遺伝子アノテーション**
 ☆太田 敦士, 吉田 健太郎, 堺 俊之, 新田 みゆき, 那須田 周平, 寺内 良平 (京大院・農)
- P040 イオンビーム照射当代植物でゲノムワイド検出した染色体構造変化の特徴解析 ～シロイヌナズナの種子あるいは幼苗照射での比較解析～**
 ○北村 智¹, 佐藤 勝也¹, 長谷 純宏¹, 吉原 亮平², 大野 豊¹, 鹿園 直哉³ (1. 量子科学技術研究開発機構・高崎研, 2. 埼玉大・院理工, 3. 量子科学技術研究開発機構・関西研)
- P041 酵素による多糖類除去を用いた高分子 DNA 調製の試み**
 ☆中川 果穂¹, 松村 英夫³, 林田 信明² (1. 信州大学院総合理工学研究科, 2. 信州大学繊維学部応用生物科学科, 3. 信州大学遺伝子実験支援部門)
- P042 ゲノムワイド関連解析による小ギクの開花期に関連する SNP の解明**
 ☆稲崎 史光¹, 白澤 健太², 栗原 冴子^{1,3}, 郷内 武¹ (1. 茨城農総セ生物工学研究所, 2. かずさ DNA 研究所, 3. 常陸大宮地域農業改良普及センター)

04. 遺伝子機能 (Gene function)

- P043 半数体誘導株の開発に向けたオオムギ CENH3 遺伝子への標的変異導入**
 ○久野 裕, 宗森 広美, 濱岡 美香, 山地 奈美 (岡山大・植物研)
- P044 J-PARC 加速器の中性子線照射によって得られたアルビノ変異体の原因となる染色体変異**
 ☆中山 好乃¹, 小島 健太¹, 菊池 伯夫², 久保山 勉¹ (1. 茨大・農学, 2. クォンタムフラワーズ&フーズ)
- P045 複数のヌクレアーゼを用いたイネ遺伝子コピー数多型制御技術の検討**
 ☆ Hyungjun PARK, 雑賀 啓明, 黒羽 剛, 吉田 均 (農研機構・生物機能利用研究部門)
- P046 デジタル PCR によるコムギ集団種子からの変異体検出効率**
 ☆神田 恭和¹, 高木 健輔¹, 山地 奈美², 安倍 史高³, 加星 光子¹, 佐藤 和広^{1,2,4} (1. かずさ DNA 研, 2. 岡山大・植物研, 3. 農研機構・作物研, 4. 摂南大・院農)
- P047 カロテノイド高蓄積タバコ変異体の葉における抗酸化能の評価**
 ○三上 雅史, 竹内 貴規, 綾部 弘基, 高倉 由光, 真籠 洋 (日本たばこ産業 (株) 葉たばこ研究所)
- P048 TaQsd1 三重変異を持つゲノム編集コムギの複数年次における種子休眠性評価**
 ○加星 光子^{1,2}, 安倍 史高², 蝶野 真喜子², 山地 奈美³, 久野 裕³, 佐藤 和広^{1,3,4} (1. かずさ DNA 研究所・先端研究開発部, 2. 農研機構・作物研, 3. 岡山大・植物研, 4. 摂南大・院農)
- P049 リン酸トランスポーター AtPHO1 の異所的発現がリン酸の吸収と輸送に与える影響**
 ☆清水 碧¹, 鈴木 洋弥², 多田 雄一² (1. 東京工科大・院・バイオニクス, 2. 東京工科大・応用生物)
- P050 シロイヌナズナのカリウムトランスポーター AtHAK5 の過剰発現が低カリウム耐性に与える影響**
 渡邊 公平, 渡邊 勇貴, 藤代 雪那, ○多田 雄一 (東京工科大・応用生物)
- P051 シロイヌナズナグルタミン合成酵素の多重遺伝子族の分子進化について**
 ○渡辺 明夫¹, 高橋 秀和² (1. 秋田県立大・生物資源科学, 2. 福島大学農学)
- P052 炭素イオンビーム照射で作出したイネ半わい性変異体はジベレリン合成を担う OsK2 遺伝子に High impact な欠失変異を有する**
 ○森田 竜平¹, 市田 裕之¹, 林 依子¹, 白川 侑希¹, 一瀬 勝紀¹, 佐藤 雅志^{1,2}, 鳥山 欽哉², 阿部 知子¹ (1. 理研・仁科センター, 2. 東北大・院農)
- P053 イネ大粒変異の原因遺伝子 LGG 遺伝子とそのオースログ遺伝子の機能解析**
 ○梅根 一夫¹, 梅根 美佳¹, 邱 琬貽², 前川 雅彦³ (1. 基礎生物学研究所, 2. 中興大學, 3. 岡山大学)
- P054 水稻品種『ひとめぼれ』に集積した収量関連遺伝子領域の効果と多収系統の育成**
 ☆高砂 ほか¹, 藤岡 智明², 寺田 道一¹, 吉津 祐貴¹, 野村 知宏³, 小笠原 由美子³, 宇津志 博恵³, 渡邊 麻由子¹, 阿部 陽³ (1. 岩手県農業研究センター, 2. 現・岩手県立農業大学校, 3. 岩手生物工学研究センター)
- P055 葯裂開不全を示す細胞質雄性不稔ナスを使った葯形態の経時的観察**
 ☆宮田 暉大¹, 辻村 真衣², 静 貴子³, 有村 慎一⁴, 一色 司郎⁵, 寺地 徹¹ (1. 京産大・生命科学部, 2. 龍谷大・農学部, 3. 京産大・植物科学研究セ, 4. 東京大・農学生命科学研究科, 5. 佐賀大・農学部)
- P056 シロイヌナズナ PPR タンパク質 SLO1 の結合予測配列改変における RNA 編集頻度への影響**
 ☆杉本 陽哉¹, 中里 一星², 有村 慎一² (1. 東大・農, 2. 東大院・農生)
- P057 イネ OsSub53 ゲノム編集による種子サイズの変化**
 ☆山口 大成, 川邊 美穂, 斎藤 靖史 (岩手大・院農学)

05. オミクス・データベース (Omics・Database)

- P058 ジャガイモそうか病抵抗性に関する代謝物と遺伝子の網羅的解析**
☆藤原 陸也¹, 浅野 賢治², 関山 恭代¹ (1. 農研機構・高度分析研究センター, 2. 農研機構・北海道農業研究センター)
- P059 イネのぬか特異的な遺伝子発現を誘導する cis-element の同定を目指したメタ解析**
☆桑原 康介, 浦川 めぐみ, 伊藤 幸博, 鳥山 欽哉 (東北大・院農学)
- P060 「OneWheatData」コムギ遺伝資源データ活用のための日仏共同研究**
○石川 吾郎¹, 鐘ヶ江 弘美^{1,2}, Cyril Pommier³, Clement Debiton⁴ (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 農研機構・農業情報研究センター, 3. URGI, INRAE, 4. GDEC, INRAE)
- P061 植物ゲノム情報収集における論文データからの自動キュレーションの試み**
○市原 寿子¹, 中村 保一^{1,2}, 磯部 祥子^{1,3} (1. かずさ DNA 研, 2. 遺伝研, 3. 東大・院農)

06. 抵抗性・耐性 (Resistance・Tolerance)

- P062 イネにおけるサツマイモネコブセンチュウ抵抗性 QTL の探索と *RKNR1* 遺伝子の単離**
○春原 英彦^{1,2}, 澤 進一郎¹ (1. 熊本大・先端科学, 2. 現(株)環境管理センター)
- P063 Analysis of Disease Responses via Bioactive Small Molecules during Wheat Powdery Mildew Infection**
☆ Yuki SATO^{1,2,3,4}, Yuanjie WENG^{1,2,3,5}, Taichi SHIMAZAKI^{2,3,4}, Yuri KANNO¹, Yumiko TAKEBAYASHI¹, Kentaro YOSHIDA⁶, Ken-ichi NIHEI⁴, Masanori OKAMOTO^{1,2,7} (1. RIKEN, CSRS, 2. Ctr. for Biosci. Res.&Educ., Utsunomiya Univ., 3. Grad. Sch. Reg. Dev.&Creat., Utsunomiya Univ., 4. Sch. Agri., Utsunomiya Univ., 5. UGASAS, Tokyo Univ. of Agri.&Tech., 6. Grad. Sch. Agri., Kyoto Univ., 7. KIBR, Yokohama City Univ.)
- P064 ばれいしょのジャガイモストセンチュウ抵抗性遺伝子 *H1* は、なぜ、いまだに同定されないのか?**
○梅基 直行¹, 濱田 晴康², 柳楽 洋三², 山田 創², 坂本 悠³, 波部 一平³, 内藤 健⁴, 坂井 寛章⁴, 山川 博幹⁴, 赤井 浩太郎⁴ (1. 理研・環境資源科学研究センター, 2. (株)カネカ・アグリバイオリサーチセンター, 3. 長崎県農林技術開発センター, 4. 農研機構)
- P065 サツマイモにおける内部褐変症の品種間差異**
○前田 哲, 川村 武, 遠藤 千尋 (茨城県農業研究所)
- P066 北海道のアズキ品種の成熟期における葉落ち程度と簡易定量法の試行**
☆道満 剛平¹, 鴻坂 扶美子¹, 長澤 秀高², 堀内 優貴² (1. 道総研・中央農試, 2. 道総研・十勝農試)
- P067 イネごま葉枯病抵抗性 QTL (*bsr1*, *qBSR3.1-kd*) の集積効果**
○松本 憲悟¹, 大橋 里美¹, 中村 大輔¹, 本多 雄登^{1,2} (1. 三重県農業研究所, 2. 現: 三重県農林水産部)
- P068 Antioxidants have antifungal effects and ability to activate defense responses to rice blast fungus**
☆ Yuanmin Huang, Takahiro Hikawa, Miyako Kato, Tsuyoshi Inukai (Grad. Sch. Agri., Univ. Hokkaido)
- P069 ネコブセンチュウ感染応答遺伝子の機能解析にむけたサツマイモ形質転換系の確立**
☆神山 匠己¹, 諏訪 奈央人¹, 神田 秀哉², 大谷 基泰³, 浅水 恵理香² (1. 龍谷大学大学院 農学研究科, 2. 龍谷大学 農学部, 3. 石川県立大学 生物資源工学研究所)
- P070 Genetic analysis of resistance against bacterial blight of some mutant lines induced by ion beam irradiation in rice**
☆ Erandi Chinthani Nayana Ellewala Kankanamge¹, Ryusei Takahashi², Yukihiro Maeda², Satoru Taura^{1,3}, Katsuyuki Ichitani^{1,4} (1. Uni. Grad. Sch. Agr., Kagoshima Univ., 2. Grad. Sch. Agr. Forest. Fish., Kagoshima Univ., 3. Inst. Gene Res., Kagoshima Univ., 4. Fac. Agr., Kagoshima Univ.)
- P071 コムギ品種「しゅんよう」に由来するコムギ萎縮病抵抗性に関する QTL の効果の検証とアレルの系譜解析**
☆高田 昌汰¹, 石川 吾郎¹, 前島 秀和², 上原 泰², 恒川 健太³, 鈴木 良地³, 加藤 周平³, 坂 紀邦³, 相馬 ちひろ⁴, 谷中美貴子¹, 中村 和弘¹, 松中 仁¹, 乙部 千雅子¹, 八田 浩一¹, 小島 久代¹, 小林 史典¹ (1. 農研機構, 2. 長野農試, 3. 愛知農総試, 4. 道総研)
- P072 イオンビーム照射によって誘発されたイネ白葉枯病新規抵抗性系統の抵抗性の3年間評価**
☆高橋 龍成¹, 加藤 神成流¹, 前田 幸暉浩¹, 柴田 雪花¹, 湯山 祐樹², 田浦 悟³, 一谷 勝之⁴ (1. 鹿大・院農林水産学, 2. 鹿児島農総セ徳之島, 3. 鹿大・遺伝子実験施設, 4. 鹿大・農学)
- P073 Substitution mapping of QTL for brown planthopper resistance (*qBPH6*) in introgression line of African rice, *Oryza glaberrima***
☆ KOHINOOR BEGUM, Kaiki Baba, Daisuke Fujita (Grad. Sch. Agri., Univ. Saga)

07. 収量・品質 (Yield・Quality)

- P074 未熟種子での一過的発現によるイネリパーゼ遺伝子のぬか層特異的シス配列の探索**
浦川 めぐみ, 桑原 康介, 鳥山 欽哉, ○伊藤 幸博 (東北大・農)
- P075 *VRN-B3* 座における複対立遺伝子変異の導入が北海道春まきコムギの農業特性に及ぼす影響**
○林 和希¹, 斉藤 涼介¹, 其田 達也¹, ディアス スアレス レスリー², 大西 志全¹, 大西 一光² (1. 道総研・北見農試, 2. 帯広畜産大学)
- P076 植物塩基性 7S グロブリンの構造的特徴とそれを対象とした成分育種の可能性**
○平野 久, 白川 純 (群馬大生体調節研)

P077 Designing flag leaf source ability by QTL pyramiding in rice

☆ Chihiro Nomura, Hiroe Utsushi, Akira Abe (Iwate Biotechnology Research Center)

P078 イネにおける初期生育時に雑種強勢を示す交配組合せ Asu × 台中 65 号の双方向の BC₁F₁ 集団における雑種不稔・収量関連形質の比較 QTL 解析

☆小城 太紀¹, 坂本 龍弥¹, 東 ミユ², 田浦 悟³, 荻原 周平⁴, 久保山 勉⁵, 一谷 勝之² (1. 鹿大・院農林水産学, 2. 鹿大・農学, 3. 鹿大・遺伝子実験施設, 4. 茨大・院農学, 5. 茨大・農学)

P079 コムギ・ダイズの子実品質を客観的に評価する多波長画像解析

○山田 哲也¹, 石川 吾郎², 中嶋 健太², 南條 洋平³, 中村 春貴², 加藤 啓太⁴, 岡田 岳之², 吉岡 資洋⁴, 池田 達哉⁴, 米丸 淳一¹ (1. 農研機構・農業情報研究センター, 2. 農研機構・作物研究所, 3. 農研機構・東北農業研究センター, 4. 農研機構・西日本農業研究センター)

08. 発生・生理 (Development・Physiology)

P080 アサガオのアフリカ系統 Q63 とアメリカアサガオ Q65 の F₂ 分離集団における早咲き原因 QTL の探索

☆村上 喜一¹, 星野 敦^{2,3}, 仁田坂 英二⁴, 久保山 勉¹ (1. 茨大・農学, 2. 基生研, 3. 総研大, 4. 九大・院理)

P081 イネの茎頂メリステムにおける PHYTOMap 実験系の開発

☆岩間 考紀¹, 森下 友梨香², 辻 寛之^{3,4} (1. 名大・農学, 2. 名大院・生命農学, 3. 名大・生物機能開発利用研究センター, 4. 横浜市大・木原生物学研究所)

P082 イネの腋芽形成に関わる TAB1 及び ASP1 の下流遺伝子の網羅的解析

☆大山 歩弥¹, 鳥羽 大陽², 田中 若奈¹ (1. 広島大院統合生命, 2. 宮城大食産業)

P083 イネの分けつ形成における FINECULM1 遺伝子の新規機能

○田中 若奈¹, 大山 歩弥¹, 鳥羽 大陽², 富永 るみ¹, 平野 博之³ (1. 広島大・院統合生命, 2. 宮城大・食産業, 3. 東京大・院理)

P084 イネの茎頂分裂組織発生における Class III Homeodomain Leucine Zipper 遺伝子ファミリーの役割

☆千葉 海大¹, 川辺 創大², 佐藤 理絵¹, 永澤 信洋², 伊藤 純一³, 佐藤 (永澤) 奈美子² (1. 秋田県大・院生物資源科学, 2. 秋田県大・生物資源科学, 3. 東大・院農学生命科学)

09. 増殖・生殖 (Multiplication・Reproduction)

P085 野生ビートミトコンドリア多様化過程における雄性不稔細胞質の進化

窪田 恵之¹, 大石 海苑¹, 谷口 英吾¹, 赤澤 亨歩¹, 松井 克憲¹, 北崎 一義¹, 豊田 敦², 藤 英博², 松平 洋明³, 黒田 洋輔³, ○久保 友彦¹ (1. 北海道大・院農, 2. 遺伝研・先進ゲノミクス推進センター, 3. 農研機構・北海道農業研究センター)

P086 長野県在来カブ品種‘稲核菜’における自家採種の現況と遺伝的多様性評価

☆小原 涼太郎¹, 松島 憲一², 根本 和洋² (1. 信州大院・総合理工, 2. 信州大学学術研究院農学系)

P087 薬剤選抜フリー下でのベタレイン合成遺伝子過剰発現システム (RUBY) のキクタニギクへの導入

○松下 修司, 蔵尾 公紀, 長久 逸 (広島総研・農業技術センター)

P088 色素合成系マーカー遺伝子 RUBY を用いたカラタチの形質転換過程の可視的評価

○白上 典彦, 蔵尾 公紀, 金好 純子, 長久 逸, 松下 修司 (広島総研農技セ)

P089 テンサイの二胚種子率に関連する QTL は多胚性遺伝子座 M とは異なるゲノム領域に存在する

○松平 洋明, 成廣 翼, 黒田 洋輔 (農研機構・北海道農業研究センター)

P090 コムギとその近縁野生種を含む *Triticum-Aegilops* 属における花粉形質の多様性

☆小林 慎太郎¹, 古島 悠生², 佐久間 俊³, 角井 宏行⁴, 那須田 周平² (1. 京都大・農学, 2. 京都大院・農学, 3. 鳥取大・農学, 4. 東京大院・農学生命)

P091 サクラソウ等花柱花の花粉管伸長の観察による和合性の定量的評価

☆上田 芳樹¹, 安田 剛志¹, 吉田 康子² (1. 神戸大・院・農, 2. 神戸大・院・農・食資源セ)

P092 チャ不定胚の分化を誘発する緑色化の条件およびその時の機能性成分の状態

○古川 一実, 清花 圭, 矢橋 駿, 吉川 禮音, 瀬川 大樹 (沼津工業高等専門学校)

P093 天王寺カブで発現した核遺伝子型雄性不稔の原因遺伝子の推定と組織学的観察

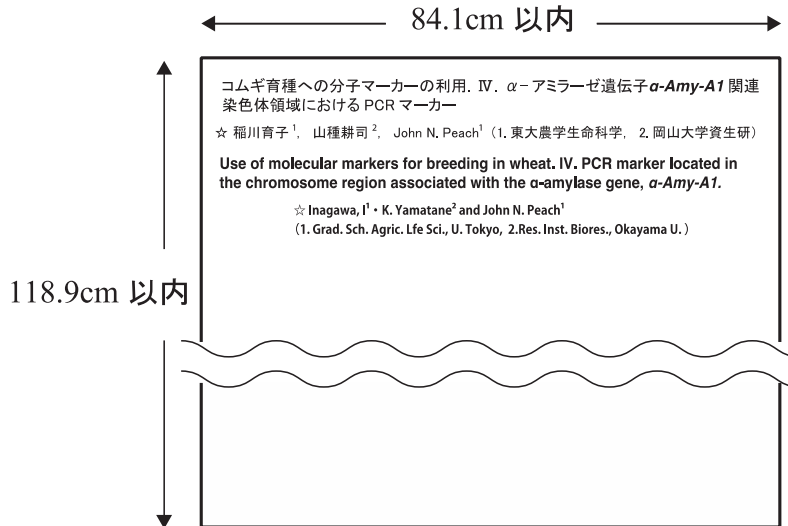
☆尾関 未帆¹, 砂川 直輝², 小松 憲治², 三井 裕樹², 和久井 健司² (1. 東農大・ゲノム解析センター, 2. 東農大・生物資源開発学科)

P094 早期子房培養法を用いた *Cymbidium eburneum* と *Cymbidium* 属の三元雑種の交配により出現した倍加半数体植物

☆小久保 裕貴¹, 馬淵 華奈¹, 石田 隆博², 加藤 淳太郎¹ (1. 愛知教育大学・理科生物, 2. 石田蘭園)

ポスター作成要領

1. ポスターはA0 サイズ（横 84.1cm×タテ 118.9cm）に収まる大ききで作成してください。
2. ポスターの上部には、オンライン登録と同一の演題名、著者名、所属を48ポイント以上の文字サイズを使い、日本語、英語を併記してください。
3. 図表のタイトル、説明文は英語で表記してください。



口頭発表講演方法

口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表にはご自分のパソコンをご使用ください。発表者は当日の朝や昼の休憩時間に会場で試写を行い、スライドのレイアウトや動作をご確認いただくとともに、パソコンの画面出力先の設定（ミラーリング）方法を必ずご確認ください。

また、パソコンの不具合に備えて大会運営委員会では予備のパソコン1台をご用意しますので、**データのバックアップを入れた USB メモリを必ずご準備ください。**

1. 使用するノートパソコンの「画面の解像度」を XGA（1024×768 ピクセル）に設定してからスライドのレイアウトを確認してください。これよりも大きい画面サイズやワイド画面のパソコンを使用すると、プロジェクターから正しく投影されないことがあります。
2. 画面出力端子の形状が D-sub15 ピン（ミニ）もしくは HDMI (type-A) であることを確認してください。この形状と異なる場合や、Mac をご使用になる場合は、変換アダプタを準備してください。
3. スクリーンセーバー、省電力設定は解除し、起動音をミュート（消音）にしてください。
4. バッテリートラブルが生じないように電源タップを用意しますので、パソコンの電源コードを準備してください。
5. 次講演者席、次次講演者席に着席したら、電源コード、モニターケーブルを順に接続し、パソコンを起動してください。
6. 発表者の画面がプロジェクターから投影されない場合、発表者はミラーリングの変更を行ってください。なお、トラブルの時間も講演時間に含まれますのでご了承ください。
7. 動画はミラーリングによってプロジェクターから投影されないことがありますので、発表者は試写の際にミラーリング方法をご確認ください。
8. 不慮の事態における予備のパソコンの貸し出しにつきましては会場のスタッフにお申し付けください。

その他、ご不明の点は大会運営委員会（jsb147-secretariat@nacos.com）にお問い合わせください。

講演会場（東北大学 川内北キャンパス）へのアクセス



【 川内北キャンパスまでの交通 】

○仙台空港から

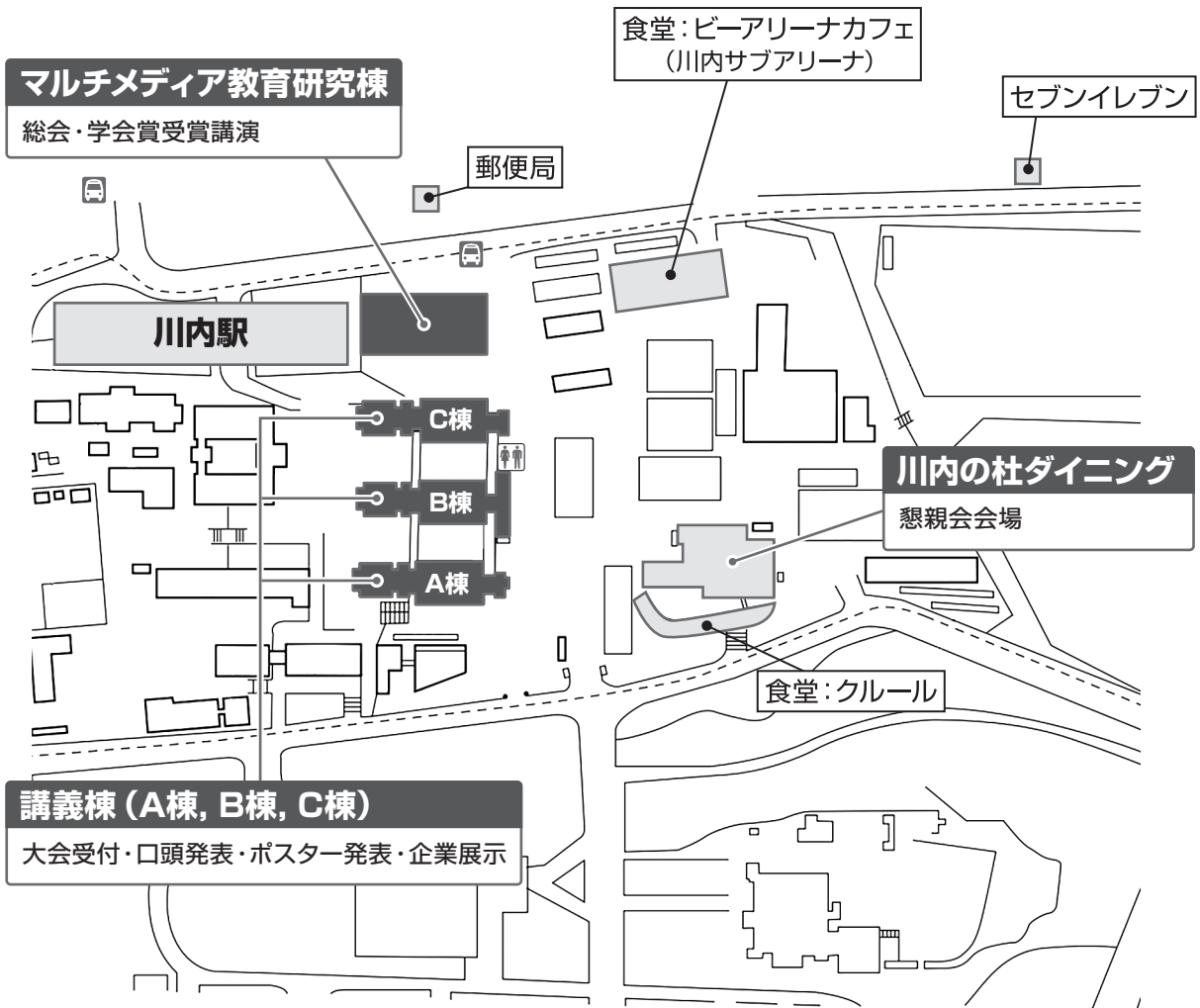
「仙台空港」(仙台空港アクセス線) → 「仙台」 (地下鉄東西線) → 「川内」 (45分)

○仙台駅から

「仙台」(地下鉄東西線) → 「川内」 (約10分)

講演会場案内図（東北大学 川内北キャンパス）

東北大学 川内北キャンパス



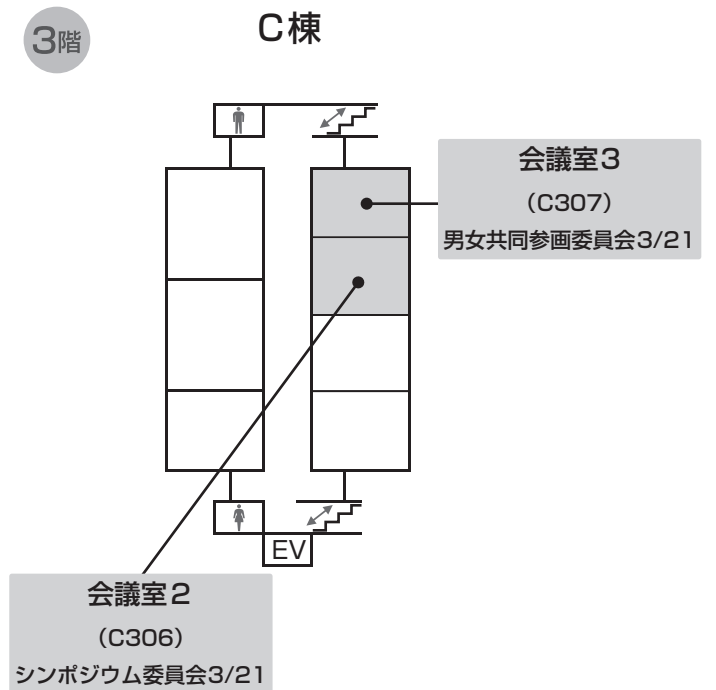
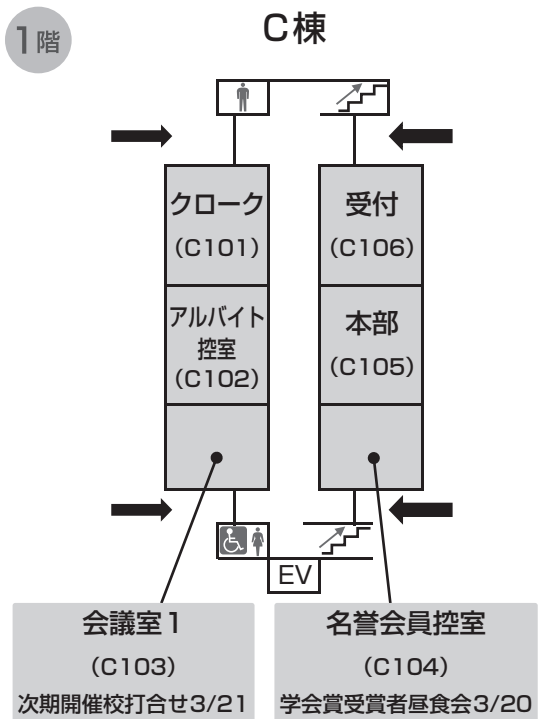
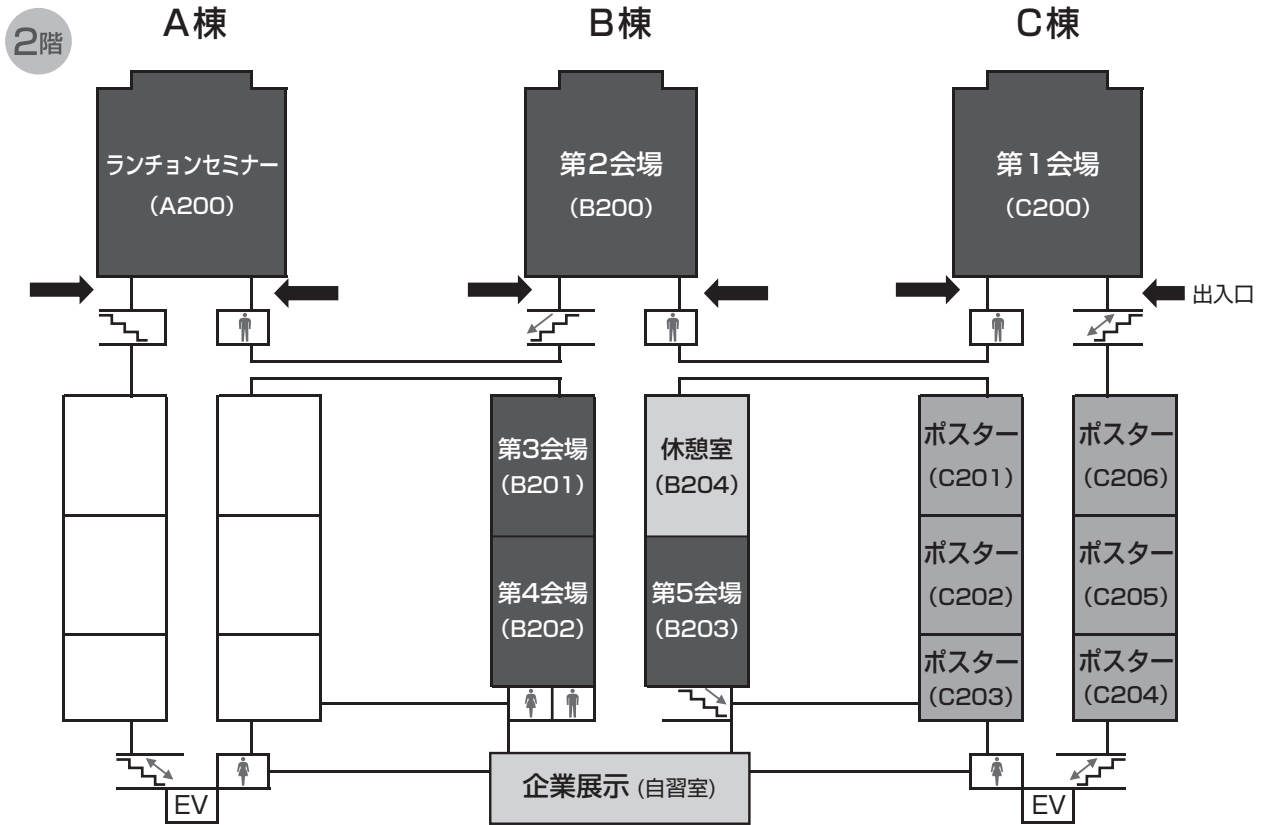
最寄り駅（川内北キャンパスまで）

川内駅（地下鉄東西線）

直結

講演会場案内図

講義棟 (1, 2, 3階)



*会場では eduroam による WiFi 接続が可能です

講演会場案内図

マルチメディア教育研究棟

2階

